

## ヒヨドリ

スズメ目 ヒヨドリ科 全長 28cm

「ピーヨ・ピーヨ」と騒がしく鳴く、灰色の鳥。花蜜や木の実、昆虫など、何でも食べる。行動が機敏で、鳴き声の種類も多く、よく観察すると意外に面白い。



## ジョウビタキ

スズメ目 ヒタキ科ツグミ亜科  
全長 14cm

冬に庭先などに現れる小鳥で、木の枝などの上で「ヒッヒッヒッ」と鳴く。鳴くときに、尾羽を上下にピンピンと振る姿が可愛い。雌は褐色がかかったオリーブ色の羽色で、雄に比べて地味な感じがする。



## オナガ

スズメ目 カラス科 全長 37cm

黒い頭部と長い尾羽が目立つ。背と尾羽が水色で美しい鳥だが、「グェーイ」と鳴く。姿よりも鳴き声から、カラスの仲間だということが実感できる。



## ツグミ

スズメ目 ヒタキ科ツグミ亜科

全長 24cm

赤茶色の羽と、胸から腹にかけての白黒のまだら模様が目立つ鳥。胸を反らせて地面に立つポーズも特徴的。



## シジュウカラ

スズメ目 シジュウカラ科 全長 15cm

「ツツピー・ツツピー」とさえずる、黒ネクタイの小鳥。ヒマワリの種子を好み、くちばしで器用に殻を割って中身を食べる。えさはえさ台では食わず、必ず少し離れた木の枝に移ってから食べる。



## ハクセキレイ

スズメ目 セキレイ科 全長 21cm

顔が白く見えるセキレイの仲間で、くっきりとした黒い過眼線が目立つ。水辺との結びつきは、他のセキレイの仲間ほど強くないようで、畑などでもよく採餌している。



## スズメ

スズメ目 ハタオリドリ科 全長 14cm

日本で最もなじみ深い鳥のひとつ。「スズ」は小さい、「メ」は鳥を意味するという。人家の屋根のすきまなどで営巣し、庭先や道などでもよく採餌する。



## メジロ

スズメ目 メジロ科 全長 12cm

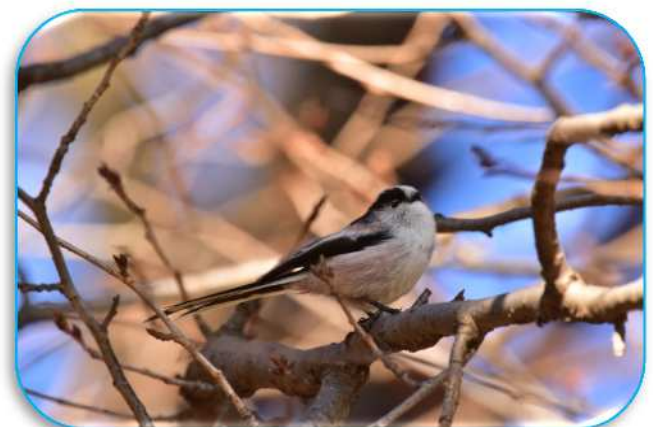
黄緑色の体と、眼の周りの白い輪が特徴的な小鳥。花の蜜や果実を好んで食べる。ツバキやサクラ、ウメなどの花を訪れ、蜜を吸う姿がよく見られる。



## エナガ

スズメ目 エナガ科 全長 14cm

林の中を群れで移動する、尾の長い小鳥。背の羽色が淡いワイン色で、よく目立つ。「ジュルル、ジュルル」と鳴き交わしながら飛び回るので、遠くにいても気が付きやすい。



## モズ

スズメ目 モズ科 全長 20cm

秋になると、枝先や杭の先にとまって「キィーキィキィキィ」とか「キュン・キュン」と鳴いている鳥。鋭いくちばしとどう猛さから「モズタカ」とも呼ばれている。



## コゲラ

キツツキ目 キツツキ科 全長 15cm

「ギイー」と鳴きながら飛ぶ、小さなキツツキ。上面が黒色で、白い斑紋がある。木の幹から枝先へと、よく動き回ってえさを探す。



## キジバト

ハト目 ハト科 全長 33cm

木の枝や電線にとまり、「デデ・ポッポー」と鳴くハト。昔から山鳩と呼ばれて親しまれてきた。



## ウグイス

スズメ目 ヒタキ科ウツイス亜科  
全長 16cm

「ホーホケキョ」のさえずりで昔から人々に親しまれる小鳥。鳴き声には7種類の型があり、それぞれ機能が決まっている。鶯色という色もあるが、実際のウグイスの羽色は、褐色がかったオリーブ色で、ずっと茶色っぽい。



## シメ

スズメ目 アトリ科 全長 18cm

太いくちばしをもつ、ずんぐりした体型の鳥。尾羽が短いので、よけいにそう見えるのかもしれない。冬に市街地の公園などで、木の実を太いくちばしで割って、中の種子を食べる姿が、よく見られる。



## カワラヒワ

スズメ目 アトリ科 全長 14cm

全身オリーブ色で、飛ぶと翼に黄色の帯が出る。飛びながら「キリリコロロ」と鳴いたり、電線に止まって「ジュイーン」と鳴くので目立つ。



## イカル

スズメ目 アトリ科 全長 23cm

黒い頭に、黄色の大きなくちばしが目立つ鳥。「キーコーキー」と、明るく朗らかな声でさえずるので、見つけやすい。



## ハシブトガラス

スズメ目 カラス科 全長 57cm

くちばしが太く、澄んだ声で「カー・カー」と鳴く。ハシボソガラスより大きく、額が出ているので識別できる。



## ヤマガラ

スズメ目 シジュウカラ科 全長 14cm

背と腹の赤茶色が目立つ小鳥。「ツーツーピー」とさえずるが、むしろ「ニーニー」するという地鳴きの方がわかりやすい。昆虫などのほか、エゴノキやシイの実を好んで食べる。



## ムクドリ

スズメ目 ムクドリ科 全長 24cm

灰黒色のずんぐりした鳥で、白い顔と橙色のくちばしと足が目立つ。農耕地や市街地に多くすみ、地上を歩きながら昆虫を探している姿がよく見られる。



## アトリ

スズメ目 アトリ科 全長 16cm

橙色の胸と白い腰が目立つ小鳥で、群れをつかって行動する。アトリの群れは、古くから人々の目にとまっており、この鳥の大群が空を渡ると災いがあるとされているようだ。



## ②1 アオゲラ

キツツキ目 キツツキ科 全長 29cm

緑の羽色の中型のキツツキ。枯れ木をつついて中の昆虫を食べるほか、木の下部や地上でアリを食べることも多い。「キュッ・キュッ」という鳴き声のほか、繁殖期には他のキツツキにはない「ピョー・ピョー」とよく響く鳴き声ももつ。



撮影者 秋山 豊 氏